

名古屋千種区「高牟神社」

名古屋市千種区に「高牟神社」がある。地名は今池だが、JR と地下鉄の千種駅から歩いてすぐ。ビルに囲まれた神社だ。ここは縁結びのご利益があり、「恋の三社めぐり」として有名。あとの二つは、同じ千種区の城山八幡宮と北区の山田天満宮。本山に近い城山八幡宮には、正月に自宅から歩いて参拝に行ったことも。山田天満宮にも行かなくては。



この高牟神社は歴史も古く、なかでも「古井の水」は日本名水百選だ。その名のように「恋が生まれる」「長寿の水」として親しまれている。元古井という地名からも、水との関わりが想起される。ここから東に行く



と、飯田街道沿いに「古井ノ坂」も。「恋の坂」なんて、わが人生「いばらの道」を思い起こす。猛暑のなか、久しぶりに訪れたときにも、若い人が熱心に参拝し、古井の水をペットボトルに入れていた。



近くに河合塾千種校があるが、高牟神社から「恋」が生まれるのであろうか。厳しい受験競争のなかで、昔の歌にあった「恋なんて」かもしれない。



高牟神社には残念ながら恋

ではないが、幼き頃の思い出がある。レポートに書いてきたが、戦後まもなく千種本町の鉄道官舎で育ち、少年時代を過ごした。鉄道官舎から高牟神社まで、それほど遠くはない。途中には「ちくさ幼稚園」があった。病気がちの身ではあったが、ここに歩いて通ったことを記憶している。



高牟神社には、正月や秋のお祭りの頃に、よく来たことがある。お目当ては、縁日の露店だ。あまり広くない境内に、たくさんの露店がところ狭しと並ぶ。威勢のいい掛け声につられて、つい立ち止まる。のちに「フーテンの寅さん」の大ファンになったのも、テキヤのおじさんの影響かもしれない。金魚すくい、風船釣りなどで遊んだものだ。

久しぶりに高牟神社に立ち寄り、幼き頃を思い起こした。千種本町も訪ねてみよう。

(2017年9月3日)